



呉駅交通ターミナルの整備方針について

この度、呉駅交通ターミナルの基本的な整備方針を示す「呉駅交通ターミナルの整備方針」を、別添のとおり、国と呉市の連名で公表しましたので報告いたします。

【概要】

国土交通省中国地方整備局広島国道事務所及び呉市が共同開催している「国道31号等呉駅交通ターミナル整備事業計画検討会」の第2回会議（令和2年11月24日開催）において、呉駅交通ターミナルの整備方針（案）に係る意見交換を行った上で、この度、公表するものです。

イメージ図（呉駅交通ターミナルの整備方針より）



呉港中央橋
ターミナル



市民や観光客が快適で
利用しやすい総合交通
拠点を創出



呉駅交通ターミナルの整備方針

国土交通省
呉市

呉駅周辺の基盤整備・まちづくりについては、平成 31 年 3 月の『呉駅周辺地域総合開発に関する提言書』を踏まえ、令和 2 年 4 月、呉市が『呉駅周辺地域総合開発基本計画』を策定しました。

本計画では、交通ターミナルを中心に必要な都市機能を誘導・集積することで、呉駅周辺をコンパクトシティの核とし、交通まちづくりとスマートシティの発信拠点を形成することを目指しています。

本計画に基づき、国土交通省と呉市は、道・港・駅・まちが一体となった『安心・安全・快適、「住む人」「来る人」全てにやさしいまち、呉』の実現に向け、「呉駅交通ターミナルの整備方針」を取りまとめました。

1. モーダルコネクットの強化

- ・交通ターミナルにバス停、タクシーや自家用車の乗降場を整備し、呉駅北側の多様な交通モードの集約を図ります。
- ・交通ターミナルと呉駅を連結するデッキを整備し、データを活用してモーダルコネクットの強化を図ります。

2. 呉駅周辺地域の交通円滑化

- ・デッキ整備による上下方向の歩行者動線を導入することで、歩行者と自動車の輻輳を解消し、安全な歩行空間を創出します。
- ・橋上駅化と合わせたシームレスな移動やユニバーサルデザインを導入し、利用者の利便性や回遊性の向上を図ります。

3. 次世代モビリティ等との連携による移動利便性・回遊性の向上

- ・自動運転化への対応や次世代モビリティの拠点整備など、今後の新たな技術導入も見据えながら、既存の道路空間やデッキの活用により、誰もが使いやすい次世代モビリティの導入に向けた環境を創出し、移動利便性・回遊性の向上を図ります。

4. 防災機能の強化

- ・平成 30 年 7 月豪雨の経験等を生かし、交通ターミナルにおいては、災害時の一時的な避難場所や帰宅困難者の受入空間、災害時の情報収集・情報発信等の拠点として利用できる機能を備えるなど、地域の防災機能の向上を目指した空間の活用を図ります。

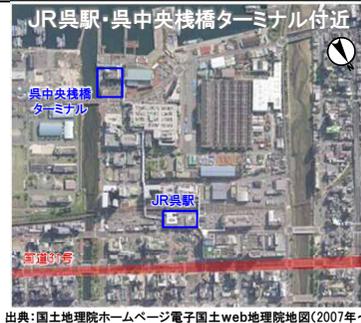
5. 官民連携による計画の具体化

- ・民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携して計画の具体化を図ります。

呉駅交通ターミナルの整備方針

ポテンシャル

- 国道・港・鉄道駅が近接したコンパクトな都市構造
- 旧海軍ゆかりの施設や瀬戸内の風景など豊富な観光資源
- 県都(広島市)・玄関口(広島空港)との高いアクセス性



課題

- 自動車・バス・歩行者など複数モードが輻輳
- 公共交通拠点へのアクセス性が悪い
- バス停・港・鉄道駅の低い連結性
- 高齢化の加速による交通弱者の増加
- 災害時の受入空間・設備の不足



自動車・バス・歩行者の輻輳

道・港・駅・まちが一体となった

『安心・安全・快適、「住む人」「来る人」全てにやさしいまち、呉』



呉中央橋 ターミナル



①モーダルコネクの強化

- ・交通ターミナルにバス停、タクシーや自家用車の乗降場を整備し、呉駅北側の多様な交通モードの集約を図ります。
- ・交通ターミナルと呉駅を連結するデッキを整備し、データを活用してモーダルコネクの強化を図ります。

②呉駅周辺地域の交通円滑化

- ・デッキ整備による上下方向の歩行者動線を導入することで、歩行者と自動車の輻輳を解消し、安全な歩行空間を創出します。
- ・橋上駅화와合わせたシームレスな移動やユニバーサルデザインを導入し、利用者の利便性や回遊性の向上を図ります。

③次世代モビリティ等との連携による移動利便性・回遊性の向上

- ・自動運転化への対応や次世代モビリティの拠点整備など、今後の新たな技術導入も見据えながら、既存の道路空間やデッキの活用により、誰もが使いやすい次世代モビリティの導入に向けた環境を創出し、移動利便性・回遊性の向上を図ります。

④防災機能の強化

- ・平成30年7月豪雨の経験等を生かし、交通ターミナルにおいては、災害時の一時的な避難場所や帰宅困難者の受入空間、災害時の情報収集・情報発信等の拠点として利用できる機能を備えるなど、地域の防災機能の向上を目指した空間の活用を図ります。

⑤官民連携による計画の具体化

- ・民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携して計画の具体化を図ります。

市民や観光客が快適で
利用しやすい総合交通
拠点を創出

